

複働詞ハ何デアルカ

第二百二十八節 複働詞(COMPOUND VERB)ハ前置詞或ハ副詞ト共ニ
働詞ノ結合ニ依テ形作ラル、譬バ彼ハ彼ノ上着ヲ脱ギシ(He took off
his coat)○趣意が見違サレシ(The subject was passed over)○彼ハ運ニ由
テ晒ハレシ(He was smiled on by fortune)ノ如シ

第五 副詞(ADVERB)

其レノ性質及ビ關係

如何ニ副詞ガ比較サルハカ

第二百二十九節 副詞ハ形容詞ノ如ク比較サル、譬バ soon (速カニ)
sooner (尙速カニ) soonest (最速カニ) wisely (賢ク) more wisely (尙多ク賢
ク) most wisely (最モ多ク賢ク) well (善ク) better (尙善ク) best (最モ善
ク)ノ如シ○多クハ全ク比較サレヌ、譬バ here (此處ニ) there (其處ニ) now
(今) then (然ル片)等ノ如シ

規則 副詞ハ働詞形容詞及ビ他ノ副詞ヲ制限スル、譬バ彼ハ賢ク働ク

(He acts wisely) 彼ハ甚タ賢クアル (He is very wise) 彼ハ甚タ賢ク働ク

(He acts very wisely) ノ如シ

第百九演習(EXERCISE 109)

書生ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

(一) 惹迷斯ガ速カニ成長スル (James grows fast)

Fast ト云フ詞ハ副詞 (fast, faster, fastest) 定級デアル而シテ grows ナ
ル働詞ヲ制限スル、副詞ハ制限スル云々

(二) 「ゼーン」ガ愉快ニ歌フ (三) 馬ガ除々ニ歩行スル

(四) 船ガ甚タ快ク帆走ル (五) 彼ハ最多ク能辯ニ談論スル

(六) 彼女ハ今殆ント此處ニアル (七) 迅速ニ罪ガヲ轉セヨ

第六 同詞(SAME WORDS)

言語ノ異ナリタル部分トシテ用ヒラレタル

第二百三十節 同シ詞が其レノ意味ニ從テ時トシテ言語ノ一部分而

ン時トシ他ノモノデアアル○次ノモノガ此階級ノ例デアアル

AFTER ハ第一副詞デアアル、譬バ「私が歸ル後ニ

第二前置詞デアアル譬バ「彼ハ私ノ後ニ來ルデアロウ

AS ハ第一副詞デアアル、譬バ「彼女ハ彼女ノ兄弟ダケ其レダケ丈高ク

アル

第二接續詞デアアル、譬バ「其レガ定メラル、故ニ我等ハ行クデ

アロウ

第三關係代名詞デアアル、譬バ「賠償ス所ノ箇様ナルモノ

BUT ハ第一接續詞デアアル、譬バ「私ハ行クデアロウ乍併汝ハ止マラ子

バナラヌ

第二前置詞デアアル、譬バ「總テガ榮譽ノ外失ナハレシ

第三副詞デアアル、譬バ「生命ハ唯タ蒸氣デアアル

FOR ハ第一前置詞デアアル、譬バ「彼ノ國ノ爲メニ死セシ

第二接續詞デアアル、譬バ「私ハ行クデアロウ如何トナレバ彼ガ

私ヲ呼ブ故ニ

MUCH ハ第一名詞デアアル、譬バ「多クガ與ヘラル、

第二形容詞デアアル、譬バ「彼ハ多クノ錢ヲ持ツカ

第三副詞デアアル、譬バ「彼ハ多ク哀シメラレシ

SINCE ハ第一接續詞デアアル、譬バ「汝ガ其レヲ好ムカラニハ私ハ行クデ

アロウ

第二前置詞デアアル、譬バ「彼ハ其時以後見ラレタ

第三副詞デアアル、譬バ「彼ハ久シキ以前死セシ

THAT ハ第一形容詞デアアル、譬バ「其人ハ私ノ兄弟デアアル

第二關係代名詞デアアル、譬バ「聞クベク耳ヲ持ツ所ノ彼レ

第三接續詞デアアル、譬バ「私ハ汝ガ好クアルヲ望ム

NOTWITHSTANDING ハ縱令ヒ分詞トハ雖モ時トノ前置詞トノ用ヒラル、譬バ「彼ノ罪ニモ拘ハラズ彼ハ遁レシ」ノ如シ、而シテ時トノ接續詞トシテ用ヒラル、譬バ「彼ハ其レヲ好ムケレトモ私ハ嫌ラハ子バナラヌ」ノ如シ

○第三編 (SECTION III)

詞ノ關係及ビ文章ノ組成

互ヒニ迄詞ノ關係及ビ文章ノ組成ヲ支配スル所ノ主意ガ此處ニ添加充分ナル説明及ビ許多ノ習例ヲ以テ再說セラル、文章ハ何デア、ルカ(第五十三節ヲ見ヨ)單、文章ハ何デア、ルカ、

第二百三十一節 單文章 (simple sentence) ハ唯一ツノ主格及ビ働詞其レニ迄其レガ主格デア、ル所ノ働詞及ビ是等ト直チニ結付ケラレ得ル所ノ總テノモノヲ保ツ、譬ハバ

太陽ガ輝ク (The sun shines)

昇ル所ノ太陽ガ勝レタル光輝ヲ以テ耀クノ如シ
複文章ハ何デア、ルカ、

第二百三十二節 複文章 (compound sentence) ハ二ツ或ハ尙多クノ單文

章カラ組立ラル、譬ハバ

太陽ガ輝ク而ノ樹木ガ動搖スル (The sun shines and the trees wave)

我等ノ上ニ輝ク所ノ太陽ハ神ノ造物デアアルノ如シ
句ハ何デアアルカ

第二百三十三節 句 (Phrase) ハ短キ言顯デアアル譬ハバ in General (大概ノ如シ)

規則 (RULES)

詞ノ關係及ビ文章ノ組成ニ向テ

第一 名詞

apposition ナル詞ハ何チ意味シ爲スカ

第二百三十四節 apposition ナル詞ハ附加ヘテ意味スル

第一規則ヲ繰返セ

第一規則其レヲ説明スベク他ノ名詞或ハ代名詞ニ迄附加ヘラレタル

名詞或ハ代名詞ハ附添ヘニ依テ其レト同格ニ於テアル、譬バ

詩人ナル「コーベル」ハ英倫ニ於テ住ヒシ

詩人ナル「コーベル」ノ住所ハ英倫ニ於テアリシ

詩人タル「コーベル」ノ名譽ハ一般デアアル

第一ノ例ニ於テ如何ナル詞ガ附添ニ於テアルカ

主格ニ於テノ poet (詩人) ガ Cowper ト附添ニ於テアル

第二ノ例ニ於テ何カ

目的格ニ於テノ poet ガ Cowper ト附添ニ於テアル

第三ノ例ニ於テ何カ

領格ニ於テノ poet ガ Cowper ト附添ニ於テアル

(註) 附添ニ於テ領格ノ記號ニ關スル所ノ備考ニ向テ第二規則備考三

ヲ見ヨ

第一百演習 (EXERCISE 110)

生徒ヲシテ充分ニ各ノ詞ヲ分解セシメヨ

(一) 英倫ノ王ナル若爾日四世ハ一千八百三十年ニ於テ死セシ

(二) 耶蘇ノ徒弟ナル「ポール」ハ第一世紀ニ於テ生活セシ

(三) 性質ニ由テ蠻民デ而シテ職業ニ由テ兵卒ナル剛爾人ノ愚味が大キクアリシ

「蠻民」及「兵卒」ハ目的格ニ於テ「剛爾人」ト附添ニ於テアル

(四) 私ハ私自カラ管理ヲ證セシ

(五) 合衆國ノ最初ノ大統領ナル若爾日華盛頓ハ一千七百九十九年ニ於テ死セシ

(六) 最モ多ク昔時ノ詩人ナル「ホーマー」ノ著書ガ尙ホ生存スル

(七) 哲學者、詩人、及「野蠻人」ナル總テノ人ガ善良ヲ貴ブ

汝ハ領格ニ向テノ規則ヲ與ヘルデアロウカ、

第二規則 領格ハ所持サレタル物ヲ顯ス所ノ名詞ニ由テ支配サル、

譬バ「馬利」ノ書物〇「彼得」ノ帽子〇「彼」ノ家ノ如シ
支配スル所ノ詞ガ會テ理會サル、カ

備考一 支配スル所ノ詞ガ時トシテ理會サル、譬バ

私ハ「マーティン」君ノ「鋪」又ハ「家」又ハ「役所」ニ迄行キシ

私ノ望ミハ「彼」レノ望ミヨリモ尙大キクアル

如何ナル詞ノ後ニ支配スル所ノ詞ガ常時廢セラル、カ

備考二 hers, ours, yours, 及 their's 後ニ支配スル所ノ詞ガイッデ

モ廢セラル、譬バ

彼等ノ勞働ハ我等ノ(我等ノ勞働)ヨリモ尙大キクアル

我等ノ報賞ハ(彼等ノ報賞)ヨリモ尙好クアル

畧字標ガ決シテ代名詞ト共ニ用ヒラレヌヲ注意セヨ

領格ノ記標ハ何デアルカ〇(第百節ヲ見ヨ)

何時畧字標ガ廢セラル、カ

備考三 (第一) 價格ニ於テノ名詞ガ他ノ名詞ト附添ニ於テアルキニ零字標ガ時トシテ以前ノモノニ於テ而シテ終リノ名詞ニ於テ廢セラル、譬バ

使僧ナル「ボール」ノ書翰○詩人タル「コーベル」ノ卓越

〔第二〕三ツ又ハ尙多クノ名詞ガ一致シテ所持サレタル物ニ迄關ハルキニ零字標ガ第一ノモノニ於テ廢除サル、譬バ 「ダヴィッド」及「ビ」ヨナタン」ノ交誼

然シナガラ彼等ガ所持サレタル物ニ迄別々ニ拘ハルキニ記標ガ兩方ニ於テ用ヒラレ子バナラヌ、譬バ

惹迷斯ノ及「ビ」若爾日ノ帽子ガ失ナハレシ

第百十三演習 EXERCISE 113

生徒ヲシテ充分ニ各ノ詞ヲ分解セシメヨ

(一) 彼ハ管事者ナル「ブラウン」君ノニ迄行キシ

(二) 經典ハ神ノ黙示ヲ保ツ (三) 我等ノ先祖ノ徳ハ我ノデアラヌ

(四) 彼ノ兩親ノ應諾ガ得ラレシ (五) 一ノ愛ガ母ノ又ハ父ノ如クアラヌ

(六) 夏ノ太陽ハ彼ノ荒廢タル家ノ上ニ輝キシ

(七) 我等ノ唯一ノ望ミハ神ノ慈悲ニ於テアル

(八) 書物ハ彼女ノデアアル我等ノデモ又汝ノデモアラヌ

(九) 錯雜ハ私獨リノデアアル汝ノデモ又彼等ノデモナク

避ケラル可キ錯誤

如何ナル錯誤ガ價格ノ用ヒニ於テ避ケラルベクアルカ、

錯誤一 其レガ適當デアラヌ所ニ零字標ノ用ヒテ避ケヨ、譬バ

hers, its, ours, theirs 等ニ向テ hers, it's, our's, their's 等 ○ David and Jonathan's friendship ニ向テ David's and Jonathan's friendship ○

(備考三)

錯誤二 其レガ適當デアアル所ニ零字標ノ廢除ヲ避ケヨ、譬バ

James's and George's books. 二向テ James and George's books. (備考三)

汝ハ目的格ヲ以タル移行働詞ニ向テ規則ヲ繰返スデアロウカ

第三規則 原働聲ニ於テノ移行働詞ハ目的格ヲ支配スル、譬バ

惹迷斯^{ジエリムス}ハ經典ヲ讀ム 「アーン」ハ書物ヲ買ヒシ

移行働詞ハ曾テ一ツノ目的格ヨリモ尙多クヲ支配シ爲スカ

備考一 name, choose, call, make, elect, appoint, declare 等ノ如キ或ル移行働

詞ハ二ツノ目的格ヲ支配シ得ル、譬バ

彼等ハ彼レヲ約翰^{ジョン}ト名ツケシ○彼等ハ華盛頓^{ワシントン}ヲ大統領ニ撰ビシ

ノ如シ

被働聲ニ於テノ働詞ガ曾テ目的格ヲ支配シ爲スカ

備考二 被働聲ニ於テノ働詞ガ時トノ目的格ヲ支配スル、譬バ

私ハ文法書ヲ教ヘラレシ○彼ハ進入ヲ拒マレシ

不移行働詞ガ曾テ目的格ヲ支配シ爲スカ

備考三 不移行働詞ガ其レ自身ノ(意味)ニ迄等シキ意味ヲ持ツ所ノ名詞ノ目的格ヲ支配シ得ル、譬バ

彼ハ彼ノ最後ノ眠ヲ眠ル○私ハ夢ヲ夢ミシ

名詞又ハ代名詞ノ外ノ或ル物が移行働詞ノ後ニ目的格トシテ用ヒラ

レ能フカ

備考四 不定法、句、或ハ文章ガ移行働詞ノ後ニ目的格ニ於テノ名

詞トシテ用ヒラレ得ル、譬バ

彼ハ遊ブヲ愛スル○彼ハ如何ニ錢ヲ作ルベキカヲ知ル

此處ニ to play 及 3 how to make money ガ目的格ニ於テノ名詞トシ

テ考ヘラレ而ノ以前ノモノハ loves ニ由テ而ノ終リノモノハ knows

ニ由テ支配サル、

第百十七演習(EXERCISE 117)

生徒ヲシテ各ノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一) 神ハ大陽、月、及ビ星ヲ造リシ
- (二) 錢貨ハ大ナル害惡ヲ生ズル
- (三) 美麗ハ眼ヲ悦バス
- (四) 善良ハ心ヲ迷ハス
- (五) 彼ハ一般ノ尊敬及ビ信用ヲ支配スル
- (六) 我等ハ速カニ生活ノ種屬ヲ走ル
- (七) 彼ハ地理書ヲ教ヘラレシ
- (八) 全キ國民ガ彼レヲ彼等ノ首領ニ撰ビシ

避ケラルベキ錯誤アキマリ

移行、動詞、及ビ目的格ニ就テ避ケラレハ、ベキ重モナル、錯誤ハ何デア、ルカ、
錯誤 目的格ニ向テ主格ノ使用ヲ避ケヨ、譬バ

「誰ヲ彼ガ呼ビ爲セシカ」ニ向テ「誰ガ彼ハ呼ビ爲セシカ」

第百二十演習 (EXERCISE 120)

次ノ文章ニ於テノ錯誤ヲ正セ

- (一) 誰ガ汝ハ要シ爲スカ (who do you want?)
 - (二) 彼ガ及ビ彼等ガ我等ハ見タ (He and they we have seen)
 - (三) 汝ガ作りシ所ノ彼レヲ信セヨ (Trust him who made ye)
 - (四) 我等ヲ保護スル所ノ彼ガ我等ハ愛スルデアロウ
 - (五) 猜ソウンデアアル所ノ彼等ガ我等ハ避ケルデアロウ
 - (六) 彼ハ一緒ニ私ノ朋友及ビ私ガ出會デアヒシ
- 汝ハ、前置詞、及ビ、目的格、ニ向テ、ノ、規則、ヲ、繰返、ス、デア、ロウ、カ、
規則四 前置詞ハ目的格ヲ支配スル、譬バ
- 彼ハ英倫ニ於テ住ヒシ○彼等ハ家カラ行ヒタ
前置詞ハ會テ理會サル、カ、

備考 前置詞ハ屢々理會サル、譬バ

私ハ多クノ哩步行セシ (多クノ哩ヲ通シテ)

彼ハ家ニ行キシ (家ニ迄)

私ハ彼及ビ彼女ト談話セシ (彼女ト共ニ)

神ガ我等ニ澤山ノ幸福ヲ與ヘル (我等ニ迄)

私ハ彼ニ何モヲ否ミ能ハヌ (彼ニ迄)

彼ハ彼ノ父ニ同ジデアル (彼ノ父ニ迄)

我等ハ河ニ近ク住ム (河ニ迄)

like 及ビ near 又ハ nigh ト云フ詞ハ或者ニ由テ前置詞トシテ考ヘラル、然シナガラニツノ最後ノ例ニ於テノ如ク彼等ノ後ニ理會サレタル前置詞ト考ヘルトノ其レガ尙多ク正シク見ユルヲ注意セヨ

避ケラルベキ錯誤

前置詞ノ用ヒニ於テ避ケラルベキ重モナル錯誤ハ何デアルカ
錯誤一 主格ト共ニ其レノ使用、譬バ

「誰ニ迄汝ハ話シ爲セシカ」或ハ「誰ニ迄汝ハ話シ爲セシカ」ニ向テ「誰ガニ迄汝ハ話シ爲セシカ」

錯誤二 間違タル前置詞ノ使用、譬バ

陸ガ平原ニ於テ成立ツ (平原カラ)

彼ハ渴キニ向テ死セシ (渴キニ付テ)

獨立格ニ向テノ規則ヲ繰返セ

規則五 名當或ハ叫歎ノ仕方ニ由テ用ヒラレタル名詞ハ獨立格ニ於テアル、譬バ
若爾日私ニ汝ノ書物ヲ與ヘヨ

祖先ヨ何處ニ彼等ハアルカ

書物ノ標題、章ノ首等ヲ組立ル所ノ詞ハ如何ニ分解サル、カ

備考 書物ノ標題、章ノ首等ニ於テ詞ガ文章ヲ完全ナラシメルベク補ハレ子バナヲ又其レハ然ル後他ノ文章ノ如ク分解サレベクアル、譬バ

〔新約全書〕ハ是ハ新約全書デアアルニ代カ

〔規則第五〕ハ是ガ規則第五デアアルニ代ル

第二 代名詞

汝ハ代名詞ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウカ

規則第六 代名詞ハ人稱、性、及ビ數ニ於テ彼等ノ先行詞ト一致セ

ネバナラヌ例之

人ガ彼レノ國ヲ出立セシ

時其レハ費サル、所ノ時ハ永久費サル、

代名詞ガ單數ニ於テノニツ又ハ尙多クノ先行詞ニ迄一緒ニ拘ハルル

ニ如何ナル數ニ於テ其レガアラ子バナラヌカ

備考一 代名詞ガ單數ニ於テノニツ又ハ尙多クノ先行詞ニ迄一緒ニ

拘ハルルニ其レガ複數ニ於テアラ子バナラヌ譬バ

惹迷斯及ビ維廉ガ彼等ノ母ヲ扶助スル(彼ノ母デアラヌ)

然レモ若シ單數ニ於テノ先行詞ガ同ジ人或ハ物ニ迄拘ハルナラバ代名詞ガ單數ニ於テアラ子バナラヌヲ注意セヨ譬バ

親切ナル良人及ビ父ガ彼ノ場處ヲ空處ニ遺シタ

代名詞ガ單數ニ於テノニツ或ハ尙多クノ先行詞ニ迄別々ニ拘ハルル

ニ其レガ如何ナル數ニ於テアラ子バナラヌカ

備考二 代名詞ガ單數ニ於テノニツ或ハ尙多クノ先行詞ニ迄別々ニ

拘ハルルニ其レガ單數ニ於テアラ子バナラヌ譬バ

惹迷斯モ又維廉モ彼ノ書物ヲ好マヌ(彼等ノ書物デアラヌ)

父ハ彼ノ生命ヲ失ヒシ而シテ息子ハ彼ノ生命ヲ失ハザリシ(彼等ノ

生命デアラヌ)

集合名詞ハ何デアアルカ(第五十二節ヲ見ヨ)

先行詞ガ集合名詞デアアルトキニ代名詞ノ數ガ何デアラヌバナラ

ヌカ

備考三 先行詞が集合名詞デアルハニ代名詞ハ關係ガ總體トシテ集合ニ迄爲サレ或ハ其レヲ形作ル所ノ一個物ニ迄爲サル、ニ從テ單數或ハ複數ニ於テアリ得ル、譬バ

集會ガ其レノ會合ヲ終リシ

集會ガ彼等ノ説ニ於テ分タレシ

其レハ、先行詞ガ異ナリタル人稱ノ者デアアル、ニ代名詞ハ人稱ハ何デアアルカ、

備考四 先行詞ガ異ナリタル人稱ノ者デアアルトキニ代名詞ガ第三人稱ニ迄撰擇ニ於テ第二人稱ト而シテ他ノ者ノ各ニ迄撰擇ニ於テ第一人稱ト一致セネハナラヌ、譬ヘハ

汝及ビ彼ハ汝ノ道ヲ行キ得ル

汝、彼レ、及ビ私ハ我等ノ公權ヲ剝奪サル、

代名詞ハ其レハ、先行詞ニ向テ名詞ノ外ハ或ル物ヲ持テ能フカ、

備考五 代名詞ハ其レノ先行詞ニ向テ文章ヲ持テ得ル、譬バ

彼ハ危難ニ於テアル而シテ彼レハ其レヲ見ヌ

彼ハ彼自身ヲ制シ能フ其事ハ彼ノ唯一ノ安泰デアアル

代名詞ハ會テ先行詞ナシニ用ヒラル、カ、

備考六 代名詞ハ時トメ或ル先行詞ナシニ用ヒラル、譬ヘバ、

其レハ雨降ル〇彼等ハ王ガ死シテアルト云フ

彼レ其人ハ有徳デアアル所ノ彼ハ幸福デアアルデアロウ

第二百二十七演習 (EXERCISE 127)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

(一) 「ヘマンス」婦人ハ彼女ノ國ノ第一ノ詩人ノ中ニアル

(二) 善キ人ハ彼ノ敵手ヲ愛スル

(三) 刑罰ハ心ニ於テ其レノ勢力ヲ失ヒ得ル

(四) 諂媚ハ人其レニ迄其レガ快クアル所ノ人ヲ害スル

- (五) 死ハ屢々辭カニ其レノ目的ニ近寄ル
- (六) 馬利及ビ若爾日ハ彼等ノ家ヲ出立シタ
- (七) 愛サレタル兄弟及ビ息子ガ淋シク彼ノ朋友ヲ遺シタ
- (八) 馬利モ又「アーン」モ彼女ノ約束ヲ想起セザリシ
- (九) 私ノ兄弟及ビ私ハ總テ我等ノ盡力ヲ務メタ
- (十) 彼ハ私ト共ニ車ノ内ニアリシ而シテ私ハ其レニ付テ預知シテアラザリシ

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ代名詞ノ使用ニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 單數ノ代名詞ニ向テ複數ノ用ヒテ避ケヨ、譬ヘバ

各ノ者ガ彼等自身ニ向テ應答セ子バナラヌ(彼レ自身)

錯誤二 複數ノ代名詞ニ向テ單數ノ使用ヲ避ケヨ、譬バ

虛飾及ビ高慢ハ直チニ其レ自身ヲ顯スデアロウ(彼等自身)

錯誤三 間違タル人稱ノ使用ヲ避ケヨ、譬バ

汝及ビ彼ハ彼ノ家ニ行キ得ル(汝ノ家)

第三 形容詞

汝ハ形容詞ニ向テノ規則ヲ與ヘルデアロウカ、

規則第七 形容詞ハ名詞及ビ代名詞ヲ制限スル、譬ヘバ

甘キ林檎 (A sweet apple) ○彼ハ善クアル (He is good)

何時形容詞ガ名詞ナシヒ用ヒラル、カ如何ニ彼等ガ分解サル、カ

備考一 形容詞ハ時トシテ理會サレタル名詞ヲ制限スル、譬バ

善人ハ幸福デアアル(善キ人)

或ハ其レガ終リノ例ニ於テノ如ク名詞トシテ用ヒラル、

形容詞ハ曾テ名詞ニ迄關係ナシヒ用ヒラル、カ、

備考二 形容詞ハ時トノ獨立ニ委シク云ヘバ名詞ニ迄關係ナシニ用ヒラル、譬バ

善クアルヲハ幸福デアアルベクアル
是處ニ good 及ビ happy ガ獨立ニ用ヒラル、

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ形容詞ノ使用ニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 形容詞ニ向テ副詞ノ用ヒテ避ケヨ、譬バ

彼等ハ安全ニ到着セシ(安全デ)

錯誤二 Thoseナル形容詞ニ向テ Theyナル代名詞ヲ用ユルヲ避ケヨ、

譬ヘバ

私ニ彼等ニ林檎ヲ與ヘヨ(其レ等ノ林檎)

錯誤三 This here 及ビ That thereナル俗語ノ用ヒテ避ケヨ、譬ヘバ

此ノ此處ニ家(此家)

其ノ其處ニ或ハ其ノアル書物(其ノ書物)

錯誤四 二重ノ最上級ノ使用ヲ避ケヨ、譬バ

「最モ多ク貴キ」或ハ「最モ貴キ」ニ向テ「最モ多ク最モ貴キ」

錯誤五 其レヲ許シ爲サヌ所ノ形容詞ヲ比較スルヲ避ケヨ、譬バ

重モナル、最上ノ、等ニ向テ最モ重モナル、最モ最上ノ

第四 働詞

汝ハ働詞及ビ其レノ主格ニ向テノ規則ヲ繰返スデアロウカ

規則第八 働詞ハ數及ビ人稱ニ於テ其レノ主格ト一致スル、譬バ

私ハ愛スル(I love) 彼ハ愛スル(He loves)

名詞或ハ代名詞ノ外ニ何か働詞ニ迄主格デアリ得ルガ

備考一 名詞トシテ用ヒラレタル或ル詞又ハ詞ガ働詞ニ迄主格デア

リ得ル、譬バ

惱ムトハ人ノ運デアアル (To suffer is the lot of man)

其處ニ to sufferナル不定法ガ主格デアアル

善ヲ爲ストハ義務デアアル (To do good is a duty)

其處ニ to do goodナル句ガニ迄主格デア

彼ガ有罪デアアル_トガ證據立ラレタ

其處ニ that he is guiltyナル文章ハ has been provedニ迄主格デア
何時_ツ、複數ノ、働詞ガ、單數ノ、主格ヲ、持チ、得ルカ、

備考二 單數ニ於テノニツ或ハ尙多クノ名詞或ハ代名詞ガ同ジ働詞
ニ迄一緒ニ主格デアアル_ルニ働詞ハ複數ニ於テア_ラ子バナラヌ_ヲ、譬バ

馬利及ビ若爾日ガ學校ニ迄行ク_(poss)デアラヌ_(ユク)

然レ_レ單數ニ於テノ主格ガ同ジ人或ハ物ニ拘ハル_ルニ働詞ガ單數
デアラヌバナラヌ_ヲ注意セヨ、譬ヘバ

親切ナル_ヲ良夫及ビ父ガ出立シタ_(have departed)デアラヌ_(ヌ)

何時_ツ、或ハ尙多クノ、主格ヲ、持ツ所ノ、働詞ガ、單數ニ、於テ、ア、ラ、子、バ、ナ、
ラ、ヌ、カ、

備考三 若シ單數ニ於テノ主格ガ働詞ニ迄別々ニ拘ハル_ルナラバ働詞

ガ單數デアラヌバナラヌ_ヲ、譬ヘバ

馬利モ又若爾日モ學校ニ行カヌ_(go)デアラヌ_(ヌ)

若シ、單數ノ、働詞ヲ、要スル所ノ、主格ガ、異ナリタル、人稱ノ、者デア、ル、ナ、ラ、
バ、働詞ハ、如何ナル、人稱ニ、於テ、ア、ラ、ヌ、バ、ナ、ラ、ヌ、ガ

備考四 若シ單數ノ働詞ヲ要スル所ノ主格ガ各異ノ人稱ノ者デア
ルナラバ働詞ハ其レニ迄最モ近クアル所ノ其レト一致セ子バナラヌ_ヲ、譬
バ

「アーン」モ又私モ其レニ付テ聞カナナダ

汝モ又「アーン」モ其レニ付テ聞カナナダ

集合名詞ハ何デア_ルカ_(第五十二節ヲ見ヨ)

主格ガ集合名詞ニ於テアル_ルニ如何ナル_ル數ニ於テ働詞ガア_ラヌ_バ、
ナ、カ、

備考五 主格ガ集合名詞デア_ルル_ルニ働詞ハ意味ニ從テ單數或ハ複數

ニ於テアリ得ル、譬ヘバ

集會ガ大キクアリシ

集會ガ彼等ノ説ニ於テ分タレシ

第一ノ例ニ於テ *assemble* (集會)ガ單數ノ働詞ヲ持ツ如何トナレバ其レガ集合ノ意味ニ於テ用ヒラル、故ニ而シテ第二ノ例ニ於テ其レガ複數ノ働詞ヲ持ツ如何トナレバ其レガ其ヲ組成ル所ノ種々ノ人ニ拘ハル故ニ

何時名詞ガ獨立主格ニ於テアルカ

備考六 獨立主格名詞或ハ代名詞及ビ分詞ガ文章ノ自餘ノ上ニ依頼ナシニ一絡ニ用ヒラル、レスト并ニ彼等ハ獨立主格ニ於テアルベク云ハル、譬バ

太陽ハ昇リツ、雲ハ散ゼシ

此處ニ *sun* (太陽)ト云フ詞ハ *rising* (昇リツ)ト云フ詞ヲ以テ獨立主格ニ

於テアル而シテ *rising*ト云フ詞ハ形容詞ノ如ク第七規則ニ從テ *rising*ナル名詞ヲ制限スル所ノ分詞デアアル

第百三十五演習 (EXERCISE 135)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一) 德ハ永久ニ生活スル
- (二) 熱病ガ去ツタ所デ彼ハ安全ニ言出サレシ
- (三) 電光ガ閃メキ而シテ雷ガ轟ク
- (四) 美麗ハ眼ヲ樂マス然シテナガラ德ハ心ヲ感得スル
- (五) 國民ハ其レノ獨立ヲ布告セシ(備考五)
- (六) 人民ハ公説者ノ能辯ニ依テ動カサレシ
- (七) 損害ヲ持堪ユルヲハ温和ナルヲ要スル
- (八) 彼ガ無罪デアアルヲハ慥カデアアル
- (九) 馬利及ビ「アーン」及ビ維廉ハ諳誦シタ

(十)馬利モ又アーンモ又維廉モ各語誦シナンド
(十一)新聞ガ流布サレテ驚愕ガ流行セシ

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ動詞及ビ其レノ主格ニ就テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 主格ニ向テ目的格ヲ用ユルヲ避ケヨ

彼ヲ及ビ私ヲ其處ニアリシ彼ハ及ビ私ハ

錯誤二 單數ノ動詞ニ向テ複數ノ(動詞)ヲ用ユルヲ避ケヨ、譬バ

惹迷斯ハ彼ノ兄弟ト共ニ行ヒタ(has gone)

彼等ノ各ガ同意シタ(has consented)

錯誤三 動詞ナシニ主格ヲ殘シ置クヲ避ケヨ、譬ハバ

此規則ガ若シ其レガ注意サレシナラバ多クノ面倒ガ省カル、デアロウ (若シ此規則ガ注意サレシナラバ)

其レノ前ノ者ノ通り動詞ノ後ニ同ジ格ノ名詞ニ向テノ規則ヲ繰返セ

規則第九 不移行動詞或ハ被動聲ニ於テノ動詞ハ兩方ノ詞ガ同ジ物ニ拘ハルルニ其レノ前ニ通り其レノ後ニ同ジ格ヲ持テ得ル譬ハバ私ハ世界ノ光リデアアル○惹迷斯ハ輔佐ト爲サレシ

彼ハ商人デアアルベク期望スル○我等ハ商人デアアルベク彼ヲ希フ

第三百三十九演習 (EXERCISE 139)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

(一)罪業ハ苦痛ノ原因デアアル (二)生活ハ一日ノ旅行デアアル

(三)私ハ葡萄樹デアアル汝ハ枝デアアル (四)三人ハ中裁人ト命ゼラレシ

(五)彼ハ彼ノ信仰ニ迄忠死人ト呼バレシ

(六)彼ハ正直ナル人デアアルベク彼レヲ願フ

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ動詞ノ後ハ主格ニ就テ避ケラルベクアルカ

錯誤 動詞ノ後ニ主格ニ向テ目的格ヲ用ユルヲ避ケヨ、譬バ

「其レハ私デアラザリシ」ニ向テ「其レハ私ニアラザリシ」
汝ハ不定法ニ向テハ規則ヲ繰返スデアロウカ
規則第十 不定法ハ一般ニ動詞名詞或ハ形容詞ニ依テ支配サル、譬
ヘバ

彼女ハ學ブヲ勉メル(She tries to learn)

彼ハ行クベク急ギニ於テアル(He is in haste to go)

私ハ死スルベク近クアル(I am ready to die)

如何ナル他ノ仕方ニ於テ不定法ガ用ヒラレ得ルカ

備考一 僅カノ場合ニ於テ不定法ガ前置詞ヲ續ギ得ル、譬ヘバ

彼ハ將ニ行カントシテアル(He is about to go)

或ハ接續詞ヲ續ギ得ル、譬ヘバ

彼ハ留マルヲヨリハ尙好ク爲シ能フ

或ハ其レガ獨立ニ用ヒラレ得ル、譬ヘバ

眞實ヲ白狀スルベク私ハ惡シクアリシ
或ハ其レガ名詞トシテ用ヒラレ得ル、譬ヘバ
遊ブヲハ樂シクアル(規則第八、備考一ヲ見ヨ)
何時名詞或ハ代名詞ガ不定法ノ前ニ目的格ニ於テアルベク云ハル、
カ

備考二 不定法ガ名詞或ハ代名詞ニ由テ支配サル、并ニ終リノ者ガ
以前ノ者ノ前ニ目的格ニ於テアルベク云ハル、譬ヘバ
我等ハ商人デアルベク彼ヲ希フ

此處デ Him(彼ヲ)ト云フ詞ハ to beノ前ニ目的格ニ於テアル
不定法ノ記標ナル、ハ、曾テ廢セラル、カ

備考三 不定法ノ記標ハ一般ニ see, hear, feel, dear, make, let ナル動詞ノ原
働聲及ビ或ル他ノ者ノ後ニ廢セラル、譬バ

私ハ其レヲ爲ス彼ヲ見シ○私ヲシテ行カシメヨ

第四百十三演習(ENGLISH 143)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一)私ハ成功スルヲ望ム
- (二)我等ヲシテ行カシメヨ
- (三)我等ハ我等ノ朋友ニ出會スルベク愛スル
- (四)彼ハ改良ナシニ通過スルベク生活ヲ許ス
- (五)私ハ職業ヲ仕遂ゲルベク懸慮シテアル
- (六)我等ハ閃ク電光ヲ見ル而シテ轟ク雷ヲ聞ク
- (七)彼ハ成功ヲ確カメルベキ仕方ニ於テアル
- (八)守錢奴ハ唯々彼ガ金ヲ貯ヘルヲニノミ生活スルベク好ム
- (九)我等ヲシテ誹謗ナシニ暮スベク勉メシメヨ

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ不定法ノ使用ニ於テ避ケラルベクアルカ
 錯誤一 不定法ノ間違タル時ヲ用ユルヲ避ケヨ、譬ヘバ

私ハ彼ヲ見タベク期望セシ (見ルベク)

錯誤二 〇ト云フ詞ノ不適當ナル使用或ハ廢除ヲ避ケヨ、譬ヘバ

彼ハ行クベク要セヌ (彼ハ行クヲ要セヌ)

分詞

分詞又ハ分詞法ハ何デアルカ(第二百七節ヲ見ヨ)○如何ニ分詞ハ分解
 サル、カ

規則第十一 分詞ハ分解サル、

第一 形容詞及ビ働詞トシテ、譬ヘバ

船ガ瀬ニ進入リツ、破損サレシ

此處ニ enteringガ形容詞トシテ規則第七ニ從テ shipト一致スル而メ

働詞トシテ規則第八ニ從テ rapidナル目的格ヲ支配スル

第二 彼等ハ名詞及ビ働詞トシテ分解サレ得ル、譬ヘバ

船ガ瀬ニ進入ルヲニ於テ沈ミシ或ハ

船ノ瀬ニ進入ルヲニ於テ其レガ沈ミシ

此處ニ entering ハ規則第四ニ從テ upon ニ由テ支配サレツ、目的格ニ於テノ名詞トナル而シテ亦規則第三ニ從テ enters ナル目的格ヲ支配シツ、働詞デアアル

第三 彼等ハ彼等ガ分詞狀ノ形容詞ト呼バル、并ニ唯形容詞トシテ用ヒラレ得ル、譬バ

昇ル所ノ而シテ没スル所ノ大陽

此處ニ rising 及ビ setting ガ分詞狀ノ形容詞デアアル

第四 彼等ハ彼等ガ分詞狀ノ名詞ト呼バル、并ニ唯名詞トシテ用ヒラレ得ル、譬バ

大陽ノ昇ルヲ而シテ没スルヲ

此處ニ rising 及ビ setting ガ分詞狀ノ名詞デアアル

分詞ガ名詞トナリ而シテ形容詞ニ由テ先立タル、并ニ何ニ因テ其レガ

繼ガレ子バナラヌカ

備考 分詞ガ名詞ト成リ而シテ形容詞ニ由テ先立タル、并ニ其レガ前置詞ニ由テ繼ガレ子バナラヌカ、譬ヘバ

適當ナル規則ニ付テ氣付ルヲニ依テ又ハ

適當ナル規則ヲ氣付ルヲニ依テ

此處ニ the 及ビ his ガ兩方用ヒラレ又ハ兩方廢セラレ子バナラヌ

第四百四十七演習 (EXERCISE 147)

生徒カシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一)我等ガ多ク習フ性質ノ書冊ヲ學ブヲニ由テ
- (二)時及ビ季候ヲ氣付ルヲニ於テ其處ニ僅カノ利益ガアル
- (三)時及ビ季候ニ付テ氣付ルヲニ於テ其處ニ僅カノ利益ガアル
- (四)黨與ガ陝路ニ進入リツ、彼等ノ道ヲ失ヒシ
- (五)諸方ニ於テ彼等ヲ攻撃スル所ノ危難ガ彼等ヲ失心キウチサセシ

- (六) 虚言ヲ聞ク^ト而^{シテ}繰返ス^トニ依テ我等ハ遂ニ彼等ヲ信ズル
- (七) 我等ハ屢々同シ道路ヲ旅行スル^トヲ以テ倦疲サレテナル
- (八) 平和ガ確定サレツ、繁榮ガ尙一度統御セシ
- (九) 總テ是ヲ許シツ、彼ハ尙ホ無罪デアリ得ル

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ分詞ノ使用ニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤一 過去分詞ニ向テ過去直說法ヲ用ユル^トヲ避ケヨ、譬ハ

「私が始メタ」ノ代リニ「have began」

「夫ガ盜マレシ」ノ代リニ「It was stole」

錯誤二 過去直說法ニ向テ分詞ノ使用ヲ避ケヨ、譬ハバ

「私ハ彼ヲ見シ」ノ代リニ「私ハ彼ヲ見ラレタル」

「私ハ其レヲ爲セシ」ノ代リニ「私ハ其レヲ爲サレタル」

一般ノ錯誤(GENERAL ERRORS)

働詞ノ使用ニ就テ如何ナル一般ノ誤謬ガ此處ニ枚擧サレ得ルカ、
 錯誤一 一般ノ眞實ヲ陳ル^トニ於テ過去ヲ用ユル^トヲ避ケヨ、譬ハ
 彼レノ論理ガ其處ニ神ガアリシ^トヲ證據立テシ(アル)
 錯誤二 互ヒト結付ラレタル時ニ於テ詞ノ不適當ナル廢脱ヲ避ケヨ、
 譬ハバ

彼ハ今迄持ツ而^{シテ}疑ヒナク信實デアロウ(今迄アツタ)

錯誤三 wouldニ向テhadノ使用ヲ避ケヨ、譬ハバ

「彼ハ尙好ク其レヲ爲サヌデアロウ」ノ代リニ「He had better not do it」

註 Had doハ分解サレ能ハヌ然シナガラ would doハ能フ

第五 副詞

汝ハ副詞ニ向テ規則ヲ與ヘルデアロウカ

規則第十二 副詞ハ働詞、形容詞、及び他ノ副詞ヲ制限スル、譬ハハ

彼ハ賢ク働ク○彼ハ甚タ賢クアル○彼ハ甚タ賢ク働ク

何レカ副詞デアアルカ而ノ其レガ第一ノ例ニ於テ何ヲ制限シ爲スカ○
第二ノ例ニ於テ如何○第三ノ例ニ於テ如何

副詞句ハ何デアアルカ而ノ如何ニ彼等ハ分解サル、デアロウカ

備考一 副詞句ハ at length(遂々) the more(益々多ク) in vain(無益ニ) in the mean

line(其間ニ)ノ如キ箇様ナル言顯シデアアル而ノ彼等ハ副詞トシテ分解
サレ得ル

其處ニ全キ文章ヲ制限スル所ノ或ル副詞ガアルカ

備考二 yes(然リ) no(否)及ビ amen(所希ナル副詞ハ全キ其レニ迄彼等ガ關

係スル所ノ全キ文章ヲ制限スルトト考ヘラル得ル

避ケラルベキ錯誤

如何ナル誤謬ガ副詞ノ用ヒニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤 副詞ニ向テ形容詞ノ用ヒテ避ケヨ、譬バ

彼ハ彼ガ其處ニ在ラザリシトテ明白デ云フ(明白ニ)

彼ハ行クデアロウカ又ハ行カヌデアロウカドチラカ其レハ不備
カデアアル(不備)

第六 接續詞

接續詞ニ向テノ規則ハ何デアアルカ

規則第十三 接續詞ハ詞或ハ文章ヲ結合スル、譬ヘバ

約翰及ビ馬利ガ行クデアロウ

現世ハ短クアル然シナガラ來世ハ長クアル

何レガ接續詞デアアルカ而ノ其レガ第一ノ例ニ於テ何ヲ結合シ爲スカ

○第二ノ例ニ於テ如何

接續詞ハ曾テ對ニ於テ用ヒラル、カ

備考 時トシテ接續詞或ハ接續詞及ビ副詞ガ對ニ於テ用ヒラル、譬

ヘバ

約翰及ビ馬利ハ兩方行クデアロウ

約翰又ハ馬利ハドチラカ行クデアロウ
 失ナハル、トハ雖モ彼ハ尙ホ愛セラル、
 最モ多ク通常對ニ於テ用ヒラレタル接續詞或ハ接續詞及ビ副詞ハ次
 ノ者デアアル

1. Both— and:
2. Either— or:
3. Neither— nor:
4. Though— yet:
5. Though— still:
6. Whether— or:
7. If— then:
8. Because— therefore:
9. More— than:
10. other— than
11. Else— than
12. Else— but
13. Not— but:
14. Not— nor:
15. As— so;
16. As— as:
17. So— as:
18. So— that:

註 第一、第二、第四、第五、第七、及ビ第八ノ對ニ於テノ詞ノ一ツハ屢々
 脱セラル、譬バ「アーン」及ビ「ジエーン」ガ來リシ「アーン」ガ來リシト

ハ雖モ私ハ彼女ヲ見ザリシ等ノ如シ○第十五、第十六、及ビ第十七ノ
 對ハ兩方副詞デアリ得ル○比較級ガ屢々 than ニ由テ繼ガル、

第百五十一演習 (EXERCISE 151)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一)馬利及ビ惹迷斯ガ歸ツタ (Mary and James have returned)
- (二)馬利又ハ惹迷斯ハドチカラ行クデアロウ
- (三)如何トナレバ馬利ガ留マル故ニ夫故ニ惹迷斯ガ行クデアロウ
- (四)縱令死ガ恐ルベクアルトハ雖モ尙ホ其レガ總テニ迄來ルデアロウ
- (五)惡人ハ死スルデアロウ然シナガラ善人ハ永久ニ生活スルデアロウ
- (六)我等ハ教訓ヲ侮慢^{アト}リ又怠リテハナラヌ

避ケラルベキ錯誤

如何ナル錯誤ガ接續詞ノ用ヒニ於テ避ケラレベクアルカ

錯誤 符合スル所ノ接續詞ノ不適當ナル用ヒヲ避ケヨ譬ヘハ

其レハ惹迷斯^{ゼイムス}デモ又ハ彼ノ兄弟デモアテザリシ^(John)

第百五十三演習(EXERCISE 133)

生徒ヲシテ總テノ詞ヲ分解セシメヨ

- (一) 一個ノ罪人が多クノ善徳ヲ損害スル
- (二) 衣服ニ於テ或ハ美麗ニ於テノ高慢ハ弱キ心ヲ示ス
- (三) 何ニモガ仕遂ケルベク神ニ向テ餘リ難クアラヌ
- (四) 汝ハ神ノ家ニ迄行ク片ニ汝ノ足ヲ保テ
- (五) 喜悅モ又悲哀モトチラモ惡ニ迄我等ヲ誘惑セヌデアロウ
- (六) 喜悅及ヒ悲哀ガ彼等ノ間ニ世界ヲ分ツ
- (七) オハイヲ河ハ一千百哩長クアル
- (八) 母ノ親切ハ永ク想起^{ヲモシメ}サル、デアロウ
- (九) 自由ハ徳ノ外ニ一ノ堅固ヲ持タヌ
- (十) 耶穌教徒、戰爭ヲ闘ヒ「ジーサス」ガ汝ヲ越テアル

- (十一) 耶穌教徒、競走ヲ走レ天ガ汝ノ前ニアル
- (十二) 唯タ現在ニ向テ生活スル所ノ其レ等ヲ好ミ爲スナ
- (十三) 家が彼ニ一千五十弗ヲ價スル
- (十四) 私ハ恐ロシキ暴風ノ前ニ倒レル樹木ヲ見シ
- (十五) 暴風^{アラレ}雨ガ止ンダ所デ海客ガ港ヲ待望ミシ
- (十六) 最も黒キ暗黒^{クラカ}及ビ最も恐ロシキ雲ガ我等ヲ越ヘテ掛ル

○點書法 (PUNCTUATION)

點書法ハ作文ニ於テ用ヒラレタル種々ノ點ヲ適當ニ用ユルノ術デア
アル○此等ノ重モナル者ハ句點()半重點()重點()及ヒ段落點()デア
ル○此等ハ總テ各異ノ長サノ讀切ヲ表ハス

短クアル所ノ單文章ニ於テ其處ニ一般ニ一ノ讀切ガアラヌ譬ヘバ
生命ハ短クアル 我等ハ毎日神カラ祚ヲ受取ル

然レモ單文章ガ長キ片ニ而ノ最も多クノ複文章ハ點ノ用ヒテ要スル

規則一 主格が其レト結付ラレタル種々ノ詞ヲ持ツ片ニ其處ニ一般ニ働詞ノ前ニ次ニ句點ガアル、譬へバ

疑ヒナキ正直ノ人ハ尊敬ヲ支配スルデアロウ

規則二 副詞及ビ副詞句ハ屢々句點ニ依テ分タル、譬へバ

然レモ彼等ハ大ナル危難ノ模様ニ於テアル

我等ハ或ル場合ニ於テ我等ノ氣質ヲ失フベク要セヌ

備考 副詞ガ或ル詞ト親密ニ結付ラル、時或ハ文章ガ短クアル片ニ句點ガ用ヒラレヌ、譬へバ

彼ハ常時其處ニアル

規則三 同格ニ於テノ名詞ハ其レガ其レト結付ラレタル種々ノ詞ヲ持ツ片ニ句點ニ依テ重モナル名詞カラ分タル、譬へバ

蘇格蘭ノ女王ナル馬利ハ英倫ノ女王ナル彼女ノ從妹ナル以利沙伯ニ由テ斬首ラレシ

規則四 彼等ニ屬スル所ノ詞ト一緒ニ彼等ガ制限スル名詞ヲ繼グ所ノ形容詞ハ句點ニ依テ文章ノ自餘カラ分タル、譬へバ

愛情ニ付テ充分ナル神ハ彼ノ造物ニ於テ憐ンデ見ル人ヲ以テ積マレタル船ガ深キ水ノ中ニ沈ミシ

規則五 働詞ガ理會サル、所ノ其處ニ句點ガ用ヒラル、譬へバ 句點ハ短キ讀切ヲ表ハス、重點ハ尙長キ者ヲ表ハス

規則六 其レノ分詞ト共ニ獨立主格、獨立不定法、及ビ獨立格ハ句點ニ依テ文章ノ自餘カラ分タル、譬へバ

太陽ガ昇ル所デ雲ガ消散セシ 廉直デアルベク私ハ彼ヲ見ルヲ好マヌ

「アラタス」ヨ過失ハ我等自身ニ於テアル

規則七 複合文章ヲ形作ル所ノ單純文章ハ一般ニ句點ニ由テ分タル、譬へバ

技術ハ長クアル而メ時ハ快ク過キテアル
愛情ハ心ヲ太メル然ルニ私欲ハ其レヲ縮メル
然シナガラ縦令私が彼レノ苦痛ヲ見シトハ雖モ私ハ其レヲ輕メ
能ハザリシ

規則八 ニツノ詞ヨリモ尙多ガ同ジ組成ニ於テ結付ラル、并ニ彼等
ハ句點ニ由テ分タル、譬ヘバ

彼ハ賢キ、有徳ナル、而メ仁惠アル人デアリシ

馬利或ハ約翰或ハ維廉ガ是處ニアルデアロウ

我等ハ彼レヲ助言シ、諫戒シ而メ慰メ得ル

備考 ニツノ詞ガ唯斯様ニ結付ラル、并ニ其處ニ一ノ句點ガアラヌ
譬ヘバ

名譽及ビ徳ハ彼レニ屬スル

接續詞ガ脱セラル、ニ非サレバ、譬ヘバ

名譽、徳ガ彼レニ屬スル

或ハ兩方ノ詞ガ同ジ事物ニ關係スルニ非ザレバ、譬ヘバ

And or Aハ不定冠詞デアル

半重點ハ句點ヨリハ尙長キ讀切ニ向テ用ヒラレ而メ重點ハ尙ホヨリ
長キ者ニ向テ(用ヒラル、)○段落點ハ文章ノ終結ニ於テ用ヒラル、○
其レガ又畧語ニ向テ用ヒラル、譬ヘバ Dr.(Doctorノ畧) Capt.(Captainノ畧)
Oct.(Octoberノ畧) A.(Anno 或ハ Anteノ畧) B.(Baron 或ハ Bookノ畧)ノ如シ

以前ノ點ノ外ニ種々ノ記標ガ左ノ如ク作文ニ於テ用ヒラル、

疑問ノ記號(?)ハ問ヲ表ハス

叫歎ノ記號(!)ハ叫歎ノ詞或ハ文章ヲ表ハス

頓挫線(一)ハ不備ナル讀切ヲ表ハス

括弧()ハ文法上ノ組成ニ迄必要ナラザル詞ヲ包括スル

畧字點()ハ isニ向テ isノ如ク或ルモノガ除脱サル、トヲ示ス或

ハ其レガ價格ヲ表ハス

連字線(一)ハ複語ニ於テ用ヒラル、譬バ tea—pot(茶壺)ノ如シ

分音點(二)ハ兩方ノ母韻ガ響カサル、一ヲ示ス譬ハ aerial(空氣)ノ如シ

節(三)ハ書物ノ小サキ區分^{ソカチ}ニ向テ用ヒラル、

零字線(一)ハ文字ガ脱セラル、一ヲ示ス譬ハ Charlesノ代リニ C—Sノ如シ

章(一)ハ新ラシキ趣意ヲ表ハス

引句標(一)ハ引用ヲ表ハス

指示(一)ハ趣意ニ迄注意ヲ向ケルベク用ヒラル、

(*)(十)(十十)(一)ノ如ク種々ノ記號或ハ數字或ハ文字ガ線端ニ於テノ傍註ニ拘ハルベク用ヒラル、

○再說及ビ結局 (RECAPITULATION AND CONCLUSION)

汝ガ此書物ニ於テ學ビツ、アツタ所ノ學問ハ何ント呼バル、カ、

第二百三十五節 其レハ英文法ト呼バル、
英文法ハ何デアルカ、

第二百三十六節 英文法ハ設定サレタル使用ニ從テ英國ノ語ヲ話スベク而シテ書クベク我等ニ教ヘル所ノ學問デアアル

汝ハ設定サレタル使用ニ依テ何ヲ理會シ爲スカ

第二百三十七節 其レハ善キ話者及ビ記者ノ過半ニ由テ實用サル、所ノ其ノ使用デアアル

如何ナル一般ノ區別ノ下ニ英文法ガ付テ論セラレハカ

第二百三十八節 四ツノ下ニ字學、詞學、作文學、及ビ音律學ナリ

第一 字學(ORTHOGRAPHY)

字學ハ何ヲ含ミ爲スカ

第二百三十九節 字學ハ詞ノ綴字^{ソビ}及ビ發音ヲ含ム

此、枝、ハ、何、處、ニ、教、ヘ、ラ、ル、カ、

第、二、百、四、十、節、 其ハ重モニ書物及ビ辭書ヲ綴ルトニ於テ教ヘラル、

第、二、 詞、學、(ETYMOLOGY)

詞、學、ハ、何、ヲ、含、ミ、爲、ス、カ、

第、二、百、四、十、一、節、 詞學ハ詞ノ分類、彼等ノ性質、及ビ彼等ノ本源ヲ含ム

註、 文法ノ此部ハ此書物ノ第一編及ビ第二編ニ於テ教ヘラレタ

第、三、 作、文、學、(SYNTAX)

作、文、學、ハ、何、ヲ、含、ミ、爲、ス、カ、

第、二、百、四、十、二、節、 作文學ハ互ヒニ迄詞ノ關係及ビ文章ノ組成ヲ含ム

註、 文法ノ此部分ハ充分ニ此書物ノ第三編ニ於テ而ノ亦第二編ニ於テ著シキ擴リニ迄教ヘラレタ

第、四、 音、律、學、(PROSODY)

音、律、學、ハ、何、ニ、付、テ、論、ジ、爲、ス、カ、

第、二、百、四、十、三、節、 音律學ハ詩ノ組成ヲ支配スル所ノ主意ニ付テ論ズ
ル

指、示、 枝其レハ畜タニ此學問ノ尙多ク進歩シタル階級ニノミ屬ス
ル所ノ枝ナル音律學ノ主意ノ格段ナル説明ニ向テ而シテ此書冊ノ中
ニ含マレタル總テノ題目ニ於テノ尙遙カナル教授ニ向テ學者ハ今
「ビネチ」ヲ詳解スル文法書ニ依頼サル、

ビ子ヲ氏英文典直譯 大尾

發兌書目

- 袖英 和 辭 林 全一冊
正價金壹圓
- クワツケ 英文典直譯 全一冊
定價金五拾錢
- クワツケ 合衆國史直譯 全一冊
定價金五拾錢
- ンボス氏 萬國史直譯 全一冊
定價金七拾五錢
- スウキン トン氏 萬國史直譯 全二冊
定價金壹圓四十錢
- スウキン トン氏 英文典直譯 全一冊
定價金六拾錢
- ウキル ソン氏 第一リードル直譯 全一冊
定價金二十錢
- ウキル ソン氏 第二リードル獨學 全一冊
定價金五十錢
- ウキル ソン氏 第三リードル直譯 全一冊
定價金八拾錢
- スウキン トン氏 第三リードル直譯 全一冊
定價金六十錢
- 綴字 英學獨案内 全一冊
定價金三十五錢
- 單語 會話 代數教授本 全三冊
正價金四十二錢
- 幾何例題詳解 全二冊
正價金二十八錢
- 商家應用會話 全一冊
正價金二十錢
- ニユル、ナシ ヨナール 第一讀本獨案内 全一冊
正價金八錢

明治二十年六月廿二日版權免許
同 年八月 出版

定價金六拾錢

東京府平民

譯述兼出版人

栗野忠雄



芝區烏森町壹番地

發兌元

岩本米太郎

芝區芝口三丁目十番地

發兌元

金章堂

芝區烏森町壹番地

大賣捌書肆

開成堂

日本橋區三丁目十番地

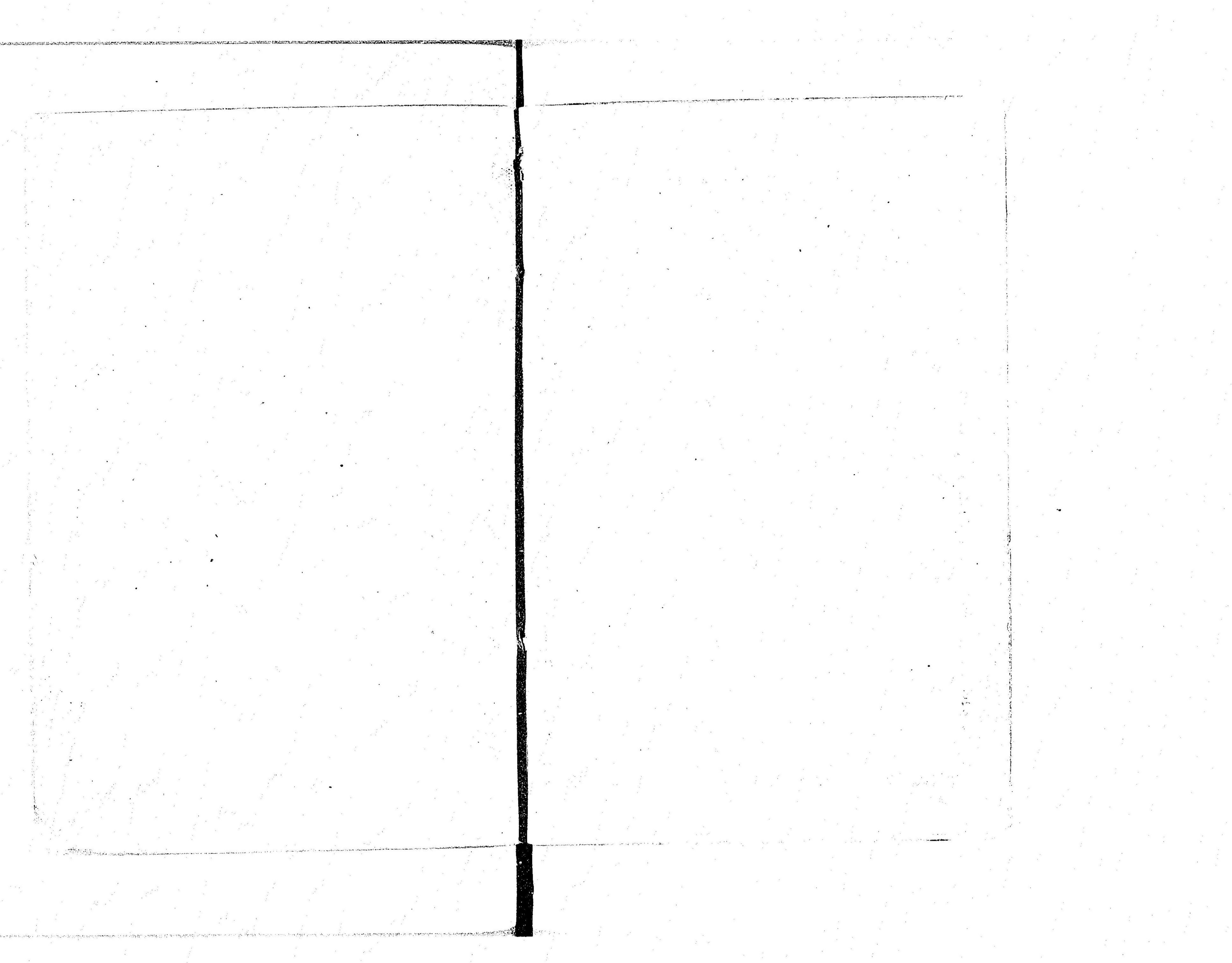
諸國賣捌書肆

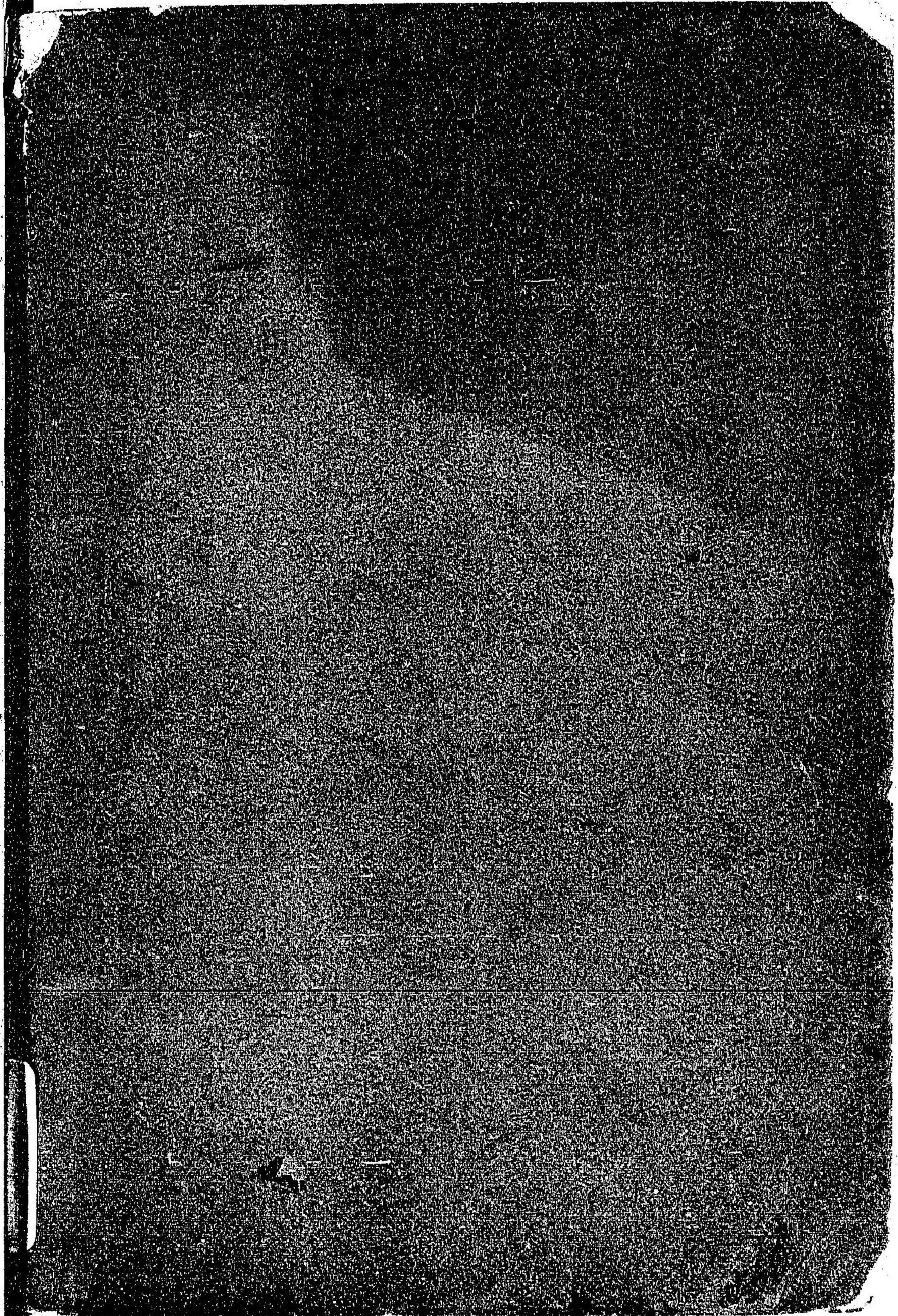
東京 同

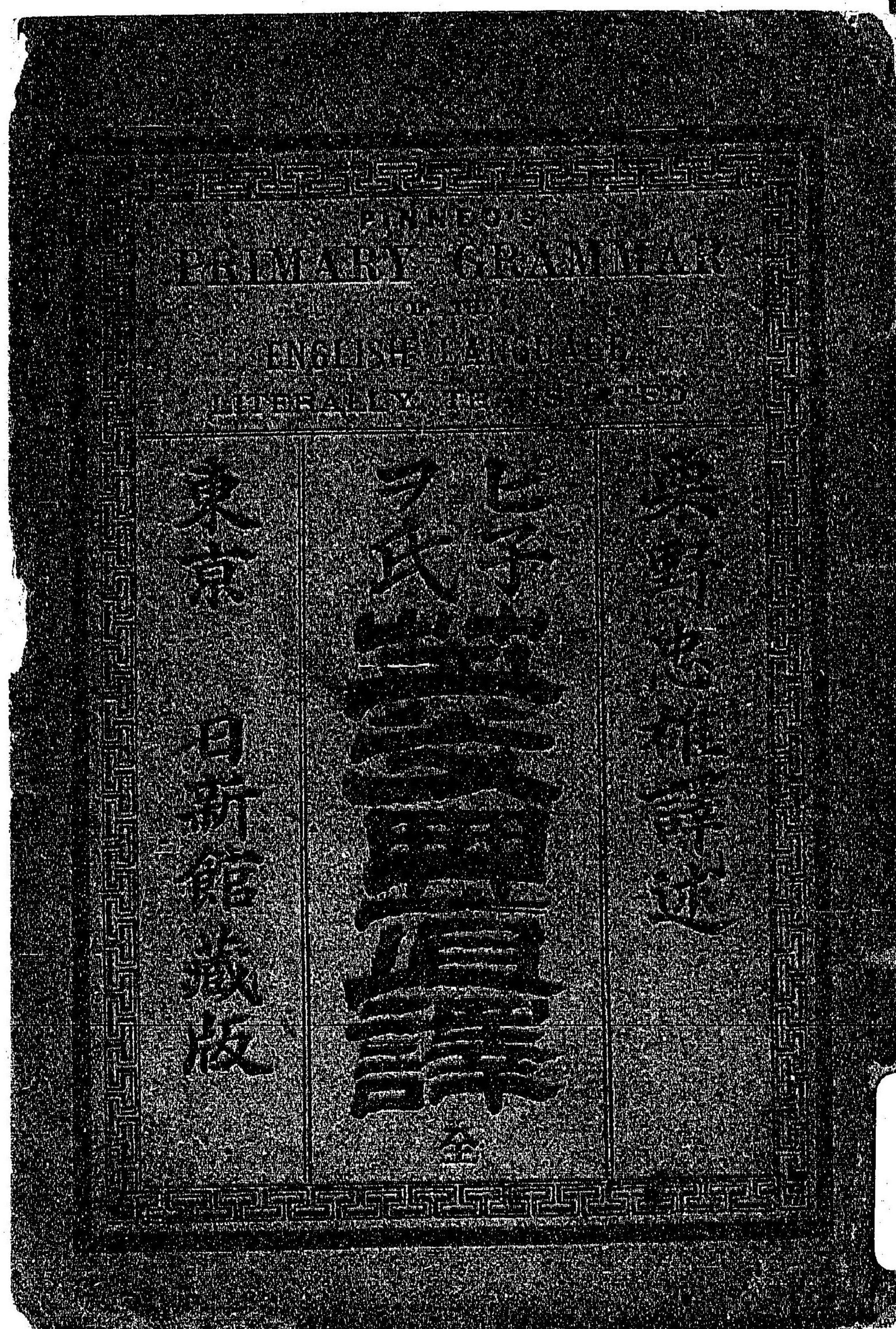
丸善書店
博聞社
大倉孫兵衛
瑞穂屋卯三郎
土屋忠兵衛
開成堂
自然堂
米倉屋順三郎
中川仁三郎
十字屋
桃林堂
叢書閣
柳河梅次郎
和泉屋孝之助
集成社
開成新堂
橋爪清三郎
山城屋佐兵衛
小林新造
上田屋榮三郎

大坂 同 同 西京
尾張名古屋
越後長岡
上州高崎
同前橋
野州宇都宮
武州横濱
肥後熊本
駿河静岡
同
信濃長野
伊勢四日市
下總千葉
武州鴻巣
越後三條
同葛塚
攝州神戸

梅原龜七
柳原喜兵衛
松村九兵衛
大黒屋書店
川瀨代助
烏屋十郎
吉田煥乎堂
高橋煥乎堂
石塚喜一郎
師岡屋伊兵衛
長崎治郎
佐藤俊平
廣瀨市藏
西澤喜太郎
伊藤善太郎
藤屋錠二郎
長島爲一郎
樋口屋小左衛門
三條屋七十郎
熊谷幸助







083233-000-5

特27-505

英文典直訳 (ピネツ氏)

栗野 忠雄 / 訳

M20

DAH-0721

